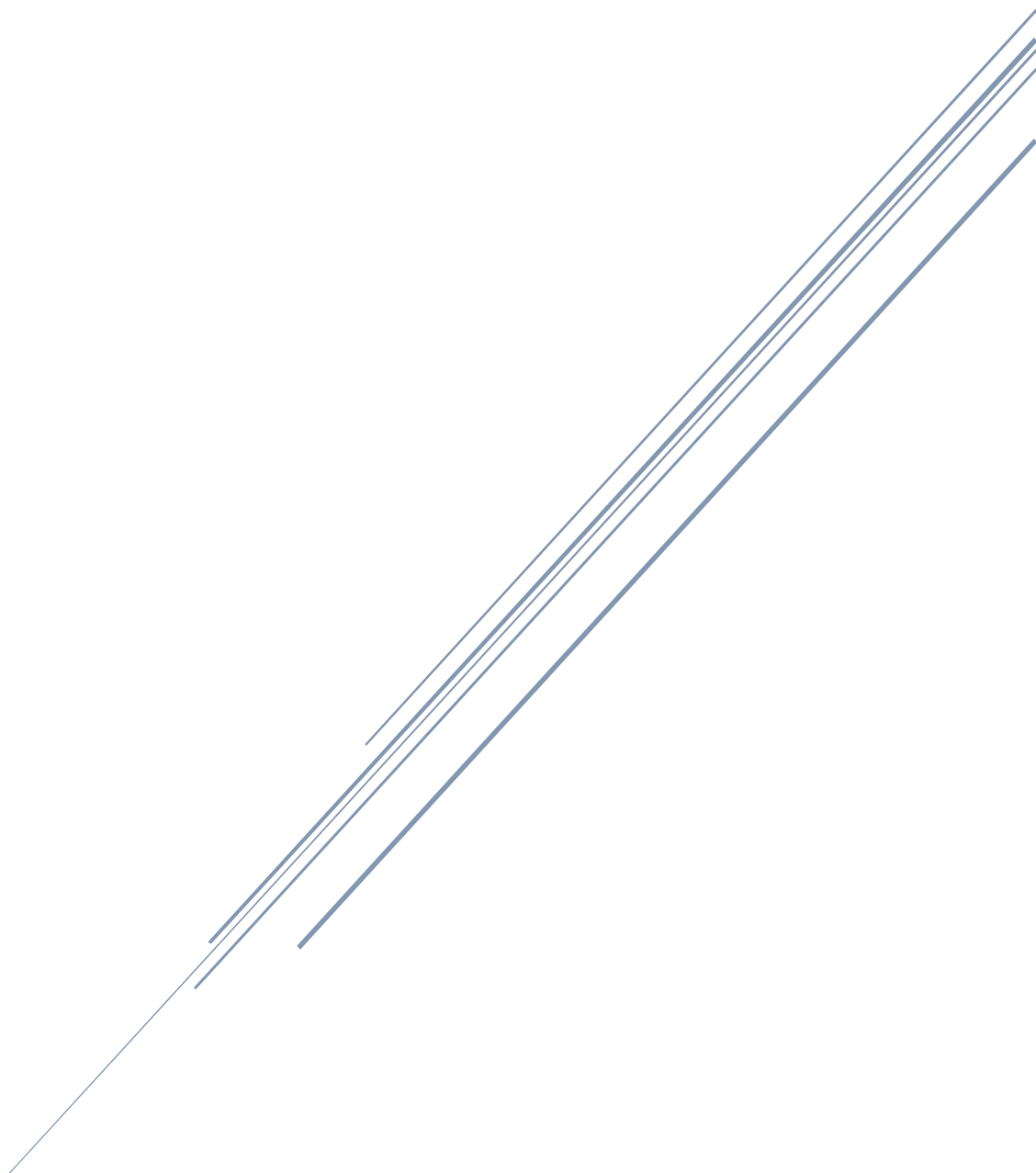


2024 年度 学校法人玉田学園 事業報告



学校法人 玉田学園

目 次

I. 法人の概要	1
1. 基本情報	1
2. 建学の精神	1
3. 学校法人の沿革	1
4. 設置する学校・学部・学科等	2
5. 学校・学部・学科等の学生数の状況	3
6. 収容定員充足率	3
7. 役員の概要	3
8. 評議員の概要	4
9. 教職員の概要	4
II. 法人本部	5
1. 理事会・評議員会の開催状況	5
2. 中期事業計画	5
3. 各センターの活動状況	6
4. 学園のブランド力向上に向けた間接広報の充実	13
5. 学園内高大連携事業の推進	14
6. 地域貢献	14
7. 自治体・一般企業等との連携強化	16
III. 神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部	17
1. 大学（短大部）の中期事業計画	17
2. キャリア支援の充実及び学生支援の充実	17
3. 入学者の安定確保	21
4. 自己点検・評価への取組	22
5. 競争的資金の獲得	23
6. 大学間連携事業の推進	23
7. 産学連携事業の推進	24
IV. 神戸常盤女子高等学校	25
1. 第Ⅱ期中期実行計画	25
2. 教育課程	25

3. 進路指導	・ ・ ・ ・ ・	28
4. 生徒指導	・ ・ ・ ・ ・	30
5. 募集対策	・ ・ ・ ・ ・	32
6. 高大連携（学園内交流）強化	・ ・ ・ ・ ・	35
7. 職員研修	・ ・ ・ ・ ・	35
8. その他	・ ・ ・ ・ ・	36

V. 神戸常盤大学附属ときわ幼稚園	・ ・ ・ ・ ・	37
1. 教育充実	・ ・ ・ ・ ・	37
2. 子育て支援事業の推進	・ ・ ・ ・ ・	38
3. 園児募集対策	・ ・ ・ ・ ・	39
4. 危機管理対策	・ ・ ・ ・ ・	40
5. 大学との連携	・ ・ ・ ・ ・	40

VI. 財務の概要	・ ・ ・ ・ ・	42
1. 決算の概要	・ ・ ・ ・ ・	42
2. その他	・ ・ ・ ・ ・	46

VII. 参考資料	・ ・ ・ ・ ・	別添
-----------	-----------	----

I. 法人の概要

1. 基本情報

①法人の名称：玉田学園

②主たる事業所の住所・電話番号・FAX 番号、ホームページアドレス等

<住所>神戸市長田区池田上町 92 <TEL>078-691-0561 <FAX>078-691-4562

<URL><http://www.kobe-tokiwa.ac.jp>

2. 建学の精神

「女子ニ必須ナル智識技能ヲ授ケ、質実健全ナル母妻ヲ養成スルヲ目的トスル」

3. 学校法人の沿革

年	事 項
1908	校祖玉田貞也 私立家政女学校創設
1915	私立神戸高等家政女学校と改称
1921	神戸家政女学校と改称
1932	専攻科・裁縫専修科設置
1944	玉田学園設立 神戸女子商業学校と改称
1946	神戸高等女学校と改称
1948	神戸常盤女子高等学校・神戸常盤中学校と改称
1967	神戸常盤短期大学 設置認可（幼児教育科・衛生技術科） 教員養成・保母資格取得課程 認定される（幼児教育科） 衛生検査技師養成学校として指定される（衛生技術科） 神戸常盤短期大学 開学
1970	神戸常盤短期大学附属幼稚園 開園
1971	臨床検査技師国家試験受験資格指定校となる
1974	臨床検査技師養成校として指定され、臨床検査技師国家試験受験資格指定校となる（衛生技術科3年制）
1983	神戸常盤短期大学衛生技術科専攻科 開設
1984	神戸常盤短期大学幼児教育科専攻科 開設
1988	神戸常盤短期大学教養科 設置認可
1989	神戸常盤短期大学教養科 開設
2000	神戸常盤短期大学看護学科 設置認可
2001	神戸常盤短期大学看護学科 開設
2002	エクステンションセンター 開設 神戸常盤短期大学健康文化学科 設置認可
2003	神戸常盤短期大学健康文化学科 開設
2003	教育課程改訂看護医療特進コース設置
2004	神戸常盤短期大学看護学科通信制課程 設置認可
2005	神戸常盤短期大学看護学科通信制課程 開設
2008	神戸常盤大学 開設

	神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科 開設 学校法人玉田学園創立百周年
2009	ライフサイエンス研究センター、ボランティアセンター、健康保健センター、 KTU 大学教育開発センター 開設
2010	子育て支援センター「子育てひろば えん」 開設
2011	普通科特進コース改組(幼教特進、四大特進、看護医療特進)
2012	神戸常盤大学教育学部こども教育学科 開設
2013	地域交流センター、国際交流センター、教職支援センター 開設
2014	教育イノベーション機構 開設
2016	新2号館 竣工
2018	学校法人玉田学園創立百十周年 子育て総合支援施設「KIT」、子育て広場「ときわんモトロク」オープン
2019	診療放射線技師学校指定校となる
2020	保健科学部診療放射線学科 開設 新8号館 竣工
2021	子育て広場「ときわんノエスタ」オープン、すこラボ 開設 神戸常盤大学医科学研究所 神戸常盤大学 PCR 検査センター 開設
2022	保健科学部口腔保健学科 開設
2024	子育て広場「ときわんタルミ」オープン
2025	看護学部看護学科 開設

4. 設置する学校・学部・学科等

学 校 名	学部名等	学科・コース名等	
神戸常盤大学	保健科学部	医療検査学科	—
		診療放射線学科	—
		口腔保健学科	—
		看護学科	—
	教育学部	こども教育学科	—
神戸常盤大学短期大学部		口腔保健学科	—
		看護学科通信制課程	—
神戸常盤女子高等学校	普通科	総合コース	進学コース キャリアコース
		大学特進看護医療コース	—
		大学特進こども教育コース	—
		大学特進文系コース	—
	家庭科	調理・製菓コース	—
		服飾コース	—
神戸常盤大学附属ときわ幼稚園	—	—	—

5. 学校・学部・学科等の学生数の状況

(令和6年5月1日現在)

学 校 名			入学定員	入学者数	収容定員	現員数
神戸常盤大学	保健科学部	医療検査学科	80	82	320	352
		診療放射線学科	75	89	300	348
		口腔保健学科	70	72	210	203
		看護学科	85	96	335	371
	教育学部	こども教育学科	80	58	320	294
神戸常盤大学短期大学部	—	口腔保健学科	—	—	—	—
		看護学科通信制課程	—	—	150	59
神戸常盤女子高等学校	—	—	285	228	855	625
神戸常盤大学附属ときわ幼稚園	—	—	15	6	60	25

※高等学校、幼稚園の入学定員は募集定員を計上。収容定員も募集定員の合計を計上。

6. 収容定員充足率

(令和6年5月1日現在)

学 校 名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
神戸常盤大学	1.10	1.11	1.10	1.07	1.06
神戸常盤大学短期大学部通信制課程	1.06	0.94	1.00	1.25	0.39
神戸常盤女子高等学校	0.88	0.82	0.79	0.71	0.73
神戸常盤大学附属ときわ幼稚園	0.65	0.62	0.50	0.43	0.42

7. 役員の概要

(令和6年5月1日現在)

役 名	氏 名	就任年月日	常勤・非常勤	備 考
理 事 長	中村 忠司	平成30年4月1日	常 勤	
副理事長	旭 潤一郎	令和2年4月1日	〃	法人本部長
理 事	濱田 道夫	平成29年4月1日	〃	大学・短大学長
〃	友井 基浩	令和4年4月1日	〃	高校長
〃	旭 次郎	昭和59年4月1日	非常勤	相談役
〃	摺河 祐彦	平成8年3月29日	〃	
〃	後藤 武	平成15年5月29日	〃	
〃	木村 光雄	令和4年4月1日	〃	
〃	宮田 英和	令和4年4月1日	〃	
監 事	尤 昭福	平成19年5月18日	〃	
〃	八代 智	平成31年4月1日	〃	

・役員賠償責任保険契約の状況

保険会社：〔幹事〕東京海上日動火災保険株式会社

契 約 者：日本私立大学協会（会員である学校法人を記名法人とする団体契約）
 保険種類：役員賠償責任保険
 被保険者：〔個人被保険者〕 理事・監事、評議員
 〔記名法人〕 学校法人玉田学園
 総支払限度額：5 億円

8. 評議員の概要

（令和 6 年 5 月 1 日現在）

役 名	氏 名	就任年月日	備 考
評議員	中村 忠司	平成 18 年 4 月 1 日	理事長
〃	旭 潤一郎	平成 30 年 4 月 1 日	副理事長
〃	濱田 道夫	平成 29 年 4 月 1 日	大学・短大学長
〃	友井 基浩	令和 4 年 4 月 1 日	高校長
〃	旭 次郎	昭和 59 年 4 月 1 日	相談役
〃	大森 雅人	令和 3 年 4 月 1 日	大学副学長
〃	尾崎 雅子	令和 4 年 5 月 26 日	大学教授
〃	高木 真美	平成 25 年 5 月 28 日	幼稚園長
〃	松元 英理子	平成 30 年 4 月 1 日	大学教授
〃	瀬山 伊佐子	令和 5 年 4 月 2 日	高校教頭
〃	笹川 久子	昭和 48 年 4 月 14 日	
〃	岡部 文雄	令和元年 5 月 28 日	大学同窓会長
〃	黒山 喜	令和元年 5 月 28 日	
〃	中水 悦子	令和 5 年 5 月 28 日	
〃	原口 由佳理	令和 4 年 5 月 26 日	
〃	山口 将生	令和 4 年 5 月 26 日	
〃	興梠 輝政	平成 20 年 5 月 28 日	
〃	柴山 慶太	令和元年 5 月 28 日	
〃	野村 慶雄	平成 29 年 5 月 29 日	

9. 教職員の概要

（令和 6 年 5 月 1 日現在）

区 分	教 員		職 員	
	本務	兼務	本務	兼務
神戸常盤大学	105	192	46	31
神戸常盤大学短期大学部	5	10	2	—
神戸常盤女子高等学校	50	22	9	—
神戸常盤大学附属ときわ幼稚園	4	1	—	—
合 計	164	225	57	31

II. 法人

1. 理事会・評議員会の開催状況

＜理事会＞	＜評議員会＞
第1回 令和6年5月24日	第1回 令和6年5月24日
第2回 令和6年11月1日	第2回 令和6年11月1日
第3回 令和6年12月18日	第3回 令和6年12月18日
第4回 令和7年2月14日	第4回 令和7年2月14日
第5回 令和7年3月28日	第5回 令和7年3月28日

2. 中期事業計画

【新規】本館棟外壁改修工事

令和2年度理事会の承認事項。当初計画に基づき、老朽化した本館棟の外装改修工事を実施する。なお、これまでのエアコン・建物外装改修工事に関する実績は以下のとおり。

＜中期計画＞

令和3年度 研究室棟エアコン改修工事

令和4年度 研究室棟建物外装改修工事

令和5年度 本館棟エアコン改修工事

計画どおり、10月末に本館棟外装工事が完了。

【新規】「ときわラーニングcommons（仮称）」の開設

現在の自習室：カルティベの機能等を改修し、生徒・学生たちが「様々な【知】」を共有できるクリエイティブな空間をオープン予定。学生・生徒が自由に出入りしてコーディネーター教職員やラーニングサポーター等と交流し、学問(学科)の垣根を超え、学びを実践する場としていく。

毎週月曜日に神戸常盤女子高等学校のネイティブの先生に来ていただき、国際交流センター主催で「イングリッシュ・ルーム」を実施。

■資格前期：11日、後期11日の合計22日。4回/1日の開催のため、延べ88回実施。

学生の延べ参加者人数は、391人。

また、学生支援課による面接指導なども同課課員が常駐し、対応にあたった。

自習室として利用者も多数いるが、旧自習室とは雰囲気はことなるように感じられる。

【新規】「おやこふらっとひろば垂水」の運営受託（「4. 地域貢献」ともリンク）

令和5年6月より垂水区役所4階（レバンテ垂水2番館）に愛垂児童館と平磯児童館を移転・統合させた垂水児童館が新たにオープン。「おやこふらっとひろば」が併設。児童館

を運営する神戸市社会福祉協議会より「おやこふらっとひろば」エリアの運営を本学が受託。令和6年4月より運営をスタートさせる。

今年度より新たに運営スタートし、現状、以下のとおりである。

【期間】令和6年4月1日～令和7年3月31日

【開園日数】304日

【利用者総数】56,049人

【1日あたりの利用者】184.4人

既存3施設と利用者証を同じものにし、全4施設の利用を可能としている。

【新規】インターンシップのフォロー

口腔保健学科授業科目「インターンシップ実習」のスキーム構築をサポート。協定先である、日の出医療福祉グループ、ときワンがチームの公式応援団長を務めているFC.AWJなどを実習先とし、内容の企画・検討を実施。今後、他学科の学生も正課外活動で参加できないか等を模索していく。

8月19～20日、22～23日に日の出医療福祉グループから講師をお招きし、授業を実施。また、8月30～9月2日の2泊3日でFC.AWJのホームゲーム運営サポートを中心とした企画を予定していたが、台風の影響で中止となった。

【新規】協定締結先企業主催イベントへの参加（「5. 自治体・一般企業等との連携強化」ともリンク）

令和5年度に連携協定を締結した㈱トキワ（兵庫県美方郡香美町）さんが毎年秋に開催しているイベント、『トキワ感謝祭』に参加を考えている。日本海側エリアは、本学の学生募集の観点からも力をいれるべきエリアと認識しており、認知度を高める一助になればと考える。

また、他の協定先企業と合同での参加も検討中である。

10月19日に『トキワお客様感謝祭2024』に参加。体組成分析計をつかった健康相談、オリジナル缶バッジ作成の2ブースを出店。昨年より本学の健康ふれあいフェスタに㈱トキワと共に参加の太陽刷子㈱も同行し、出店。

イベント自体過去最高の800人以上の参加があり、本学ブースも好評であったとのこと。

3. 各センターの活動報告

健康保健センター

1. 健康管理室の活動

今年度から、各学科に健康保健センター委員を配置した。毎月の健康保健センター委員会を通して、課題と取組状況を共有し、障がいのある学生への支援を初め、全学的な相談対応体制を整えることができた。

1. 抗体価検査に関する活動

前年度同様に、学科臨地実習委員会と連携しながら、学生の接種証明の管理、入学時に

学生の母子手帳の接種歴記録の確認と情報管理を行い、役割を果たすことができた。多くの医療機関が基準としている日本環境感染学会ガイドラインの見直し(2024年11月)に伴い、接種医療機関から問い合わせが生じている。今後の対応方針について全学的な体制を整えていくために現在検討を進めている。

2. 健康調査と障がい学生支援に関する活動

学内の障がいのある学生への支援については、2024年4月 障害学生支援の義務化に合わせ健康保健センター規程、健康管理室規程、学生相談室規程を変更し、新たに障がい学生支援室規程を制定した。また、障がい学生支援方針及び支援の流れを作成し、学内で周知することができた。今後は活用しながら、課題等について検討していくことが重要である。また教職員に対して障がい学生支援及び合理的配慮について理解を深めるため、SD委員会と共催の研修会を次年度実施に向けて現在準備をしている。

その他、入試前の相談についても入試広報課と連携し、会議や話し合いを行った。特に入試前相談に関しては、組織認識の違いや組織の中での決定等について調整が必要な場面もあったが、入試広報課とともにガイドラインを作成することで少しずつ組織の中での理解が進んできている。今後は、運用することで出てくる課題へ対応していく必要がある。

3. 健康診断に関する活動

2024年度定期健康診断を3月下旬から4月上旬に実施した。在籍者全1568名中1553名が受診し、休学者を除く6名の在籍者が未受診であった。未受診学生に対しては、各学科委員と連携して受診指導を実施した。

4. 学生の健康管理室利用

健康管理室の利用者数は年間延べ200件であり、大幅に増加している(2023年度:133件)。利用内容は内科症状130件(2023年度:111件)、外科的症状21件(2023年度:16件)、心の問題102件(2023年度:52件)、緊急搬送1件(2023年度1件)であった。

心の問題や対人関係の弱さを抱える学生が増え、保健室の利用の増加につながっている。学生からの相談・調整件数が60件(2023年度19件)あり、教職員からの相談・調整件数は61件(前年度23件)と多く、特に教職員からの相談が増加し、対応困難なケースの増加とともに教職員への支援も行っている。

友人間のトラブルや自殺企図・自傷行為等の緊急性の高いケースがあり、カンファレンス17件(2023年度:3件)と大幅に増加した。教職員共に考えていくことで役割分担をしながら学生を支援できる体制を築くことができていると考える。

5. 学生への広報活動

入学直後は新入生が大学生活への適応に苦労する時期でもあることから、学内オリエンテーション期間に、健康保健センターの紹介を行った。カウンセラーの紹介や、いつでも相談に来てよいことを伝えることで、学生に健康保健センターの周知を図り、学生が活用しやすい環境に繋がったと考える。

Ⅱ. 学生相談室の活動

カウンセリングルームの開設日が増えたことで、利用率は約 49.9%（延べ 277 名）（2023 年度：約 57.7% 延べ 240 名）やや減少している。しかし、健康管理室の利用の増加の大半が心に関する相談であることから、総合的にみると健康管理室と学生相談室が互いに役割分担し、協働できていると考える。また、週 3 回（月・水・金）カウンセラー 3 名体制で学生相談を行うことにより、友人間でのトラブルに対応するカウンセラーの重なりを避ける対応や学生自身がカウンセリング予約を取りやすい状況につながった。学生相談室の相談内容は、友達との関係や修学に関する悩み（試験・学内実習・学外実習）等であった。

Ⅲ. 交流会

なごみリラクゼーション企画：12 月 18 日（水）「ハンドメイドリボンしめなわ作り」16 時 20 分～17 時 30 分 講師：桐原かおり（看護学科卒業生）参加費無料、先着 20 名、申し込み不要で開催した。当日の参加者：15 名、教員の参加もあり。他学科との交流、学年間の交流、学生と教員の交流があり、参加者より好評価を受け、終了した。今後は前期に行い、学生生活に慣れていくための支援の一つとして行うことができると考える。

地域交流センター

例年、離島プロジェクトとして実施している、小豆島町と連携した島の活性化事業「小豆島地域交流合宿（地域との協働 B）」を当初 8 月 25～27 日に 2 泊 3 日の予定であったが、台風接近のため安全を第一優先し、1 泊 2 日に短縮し、実施。

■参加者：学生 31 名、教職員 9 名

このほか、地域住民へ生涯学習の場を提供するという目的のもと、対面開催 9 講座、また、前期公開講座には「芸術文化論」の特別聴講も 2 講座組み入れて開催した。

国際交流センター

①ネパール交換研修生受入れ

11 月 30 日～12 月 7 日までの予定でネパールから研修生 2 名を受入れ、本学、系列高校での研修実施ならびに病院訪問、文化研修等を実施した。

②保健科学部授業科目「国際保健医療活動Ⅱ」の海外研修（アメリカ、ネパール、台湾、オーストラリア）実施の支援

医療検査学科アメリカコース（9 月 13 日～9 月 23 日）、医療検査学科ネパールコース（9 月 7 日～9 月 16 日）、診療放射線学科台湾コース（5 月 25 日～5 月 31 日）、看護学科オーストラリアコース（9 月 9 日～9 月 17 日）を実施した。

※医療検査学科、看護学科は大学コンソーシアムひょうご神戸への開放

派遣学生：M 科アメリカ 5 名、M 科ネパール 3 名、R 科台湾 4 名、N 科オーストラリア 6 名（うち 1 名は関西国際大学学生）

③こども教育学科「海外研修」（オーストラリア）実施の支援

2025 年 2 月 21 日～3 月 1 日の期間、オーストラリアシドニーにて研修を実施した。

④基盤教育分野「国際理解」の開講

前期後半に 8 回（15 時間）の授業を行った。

履修者：65 名（看護学科 31 名、口腔保健学科 28 名、診療放射線学科 6 名）定員オーバーのため、抽選を行った。

⑤KICC と連携

③にゲストスピーカーとして 1 回の講義ならびに学生企画へのコメントをいただいた。

⑥異文化体験プログラムの実施

3 月 15 日に国際理解履修学生（口腔保健学科 3 名、看護学科 2 名、口腔保健学科 3 名）が主体となり「春の国際交流フェスタ」を実施し在日外国人 21 名が参加した。実施にあたっては KICC にアドバイスをいただいた。

⑥English Room の実施

ラーニングコモンズにてネイティブスピーカーの先生による英会話レッスン年間通して 22 日、合計 88 回（1 日 4 コマ 1 回 45 分）実施した。延べ 391 名の学生が参加し英語スピーキング力を向上させた。

⑦神戸聖隷福祉事業団主催のタイ研修への学生派遣

10 月 6 日～10 月 12 日の日程で開催される神戸聖隷福祉事業団の職員研修であるタイ研修に学生 2 名（診療放射線学科 1 名、こども教育学科 4 年 1 名）が参加した。

教職支援センター

<自己評価・課題>

1. 公立保育士・公立幼稚園教諭・小学校教諭・養護教諭に関わる指導

- ・中道室長体制二年目を迎える改革の一環として、新たに加わった事務担当者大谷さん（元神戸市小学校教員）の経験を活かし、室長を中心に各委員が協力して、公立保育士・公立幼稚園教諭・小学校教諭・養護教諭・一般就職への手厚い支援を展開した。
- ・e ラーニングによる、年間を通した全学年の学力向上プログラムを実施し、学生の時間を効果的に使った基礎学力向上プログラムを実施した。また、出願に当たって「エントリーシート」の記述内容の指導を行った。

2. 面接・小論文・実技試験にかかわる指導

- ・面接・小論文対策・実技試験対策を 4 月から採用試験まで約 200 回以上実施した。

3. 学部の授業科目と連携した指導

- ・「保育・教育課題研究Ⅲ」と「教科指導法特論Ⅱ」において異学年の交流を行い、採用試験対策や受験に際する注意事項、スケジュール管理などについて採用試験を経験した 4 年生と 3 年生が伝えあいを行った。また保育・教育実践演習Ⅰ（1 年必修科目）、「保育・教育実践演習Ⅱ」（2 年必修科目）、「保育教育課題研究Ⅱ」（3 年必修科目）において、KIT 内で実習を行い、学習支援や保護者対応について経験値を高めた。
- ・4/27（土）「養護教諭合格者座談会」を実施。卒業生も含め 21 名が参加。

4. 公立保育士・公立幼稚園教諭にかかわる指導

- ・小学校教諭・中学校教諭・養護教諭に対する指導と同様に e ラーニングによる、年間を通した学力向上プログラムを実施した。また、SPI 対策についても連携し効果的な指導方法の確立に努めた。
- ・面接・小論文対策・実技試験対策を 4 月から採用試験まで約 60 回以上実施した。

5. 子育て支援施設 KIT における活動の支援

- ・子育て支援施設 KIT(てらこや)における活動を学部の授業とタイアップして、学生の力

リキュラム作りに関する指導及び支援を行った。

- ・1年生から3年生が実習を行い、そのための事前指導にもかかわった。学習支援の技能向上に寄与した。

6. 教育実習指導

- ・3年生の「教育実習指導」に支援センター室長も指導者として関わり、模擬授業や実習の心得について学部教員と共に指導を行うことができた。

<小学校教員採用試験対策の実施>

教員採用試験対策の成果により、以下の地域で13名の学生が正規教諭に採用された。

兵庫県：3名 神戸市：3名 大阪市：1名 東京都：1名 名古屋市：1名
川崎市：1名 鳥取県：1名 福井県：1名 岡山市：1名

また、採用試験の結果は以下のとおり。

一次試験合格率：目標 60% → 実績 150%

最終合格者数 ：目標 30% → 実績 127%

中長期目標として、公立学校教員の合格者を2桁輩出する体制を整備し、採用試験を受験した18名中14名が最終合格(うち1名は三木市役所・兵庫県信用組合に内定)し、3年連続で目標を達成した。

<養護教諭採用試験対策の実施>

本年度は、教育学部と看護学科の教員が協力し、教員採用試験対策を実施した。その成果として、以下の地域で3名中1名が正規の養護教諭として採用された。

神戸市：1名

一次試験合格率：目標 60% → 実績 100%

最終合格者数 ：目標 30% → 実績 33%

<幼稚園教諭・保育士採用試験対策の実施>

令和5年度から開始した、公立保育士の採用試験対策においては、以下の地域で4名中4名が正規の保育士として採用された。

神戸市：1名 洲本市：1名 加古川市：1名 宍粟市：1名

一次試験合格率：目標 60% → 実績 250%

最終合格者数 ：目標 30% → 実績 125%

<一般就職採用試験対策の開始>

今年度からは教員養成コースに所属する学生の一般就職採用試験対策にも注力し、3名の学生の就職支援を行った。

兵庫県公安委員会指定神戸ドライビングスクールに1名が内定(採用試験を未受験の学生)

三木市役所に1名が内定(採用試験を受験し、福井県で最終合格した学生)

白百合学園に1名が内定(採用試験1次試験で不合格になった学生)をそれぞれ支援し、最終内定率100%を達成した。

今年度の成果の要因として次の5点を挙げる。

- ①受験生のニーズをしっかりと把握し複数で指導に当たったことによって、個々の資質・能力（学力・人間性等）が豊かであった学生が生き生きと学ぶことができた。
- ②学生同士、学生と教員が相互に協調的な態度で連帯して課題に取り組む姿勢が見られた。
- ③教職支援センターと学科との役割分担や連携・支援体制が大きく機能した。
- ④今年度も昨年度に引き続き、教職支援センターの運営改革を実施し、「学生のニーズ・過去の業務内容の評価・委員の意見」を総合的に踏まえた運営が功を奏したといえる。今後、ますます早期受験の自治体が増加するであろう。情報収集と学生への周知を細かく行って、受験の幅を広げさせる進路指導も行っていかなければならない。
- ⑤教員採用試験説明会の実施（兵庫県・神戸市・姫路市・岡山市・川崎市 7回実施）と、情報発信（大阪府・大阪市・岡山市・鳥取県・福岡市に Zoom で学生が参加）した。

教育研究推進センター

- ・「テーマ別研究」について、学内周知の強化を図り、20件の申請があり、20件を採択した。
※申請区分内訳：基礎研究7件、ブランディング研究（教育）7件、
ブランディング研究（地域）6件
採択区分内訳：基礎研究7件、ブランディング研究（教育）7件、
ブランディング研究（地域）6件
- ・従来同様、科研費の9月中旬の申請期限に向けて、学内にて申請書類の校閲と加筆修正のアドバイスをを行った。本年度は32件の申請に至った（昨年度33件）。
- ・「令和7年度 学術研究振興資金／若手・女性研究者奨励金」の公募に関して、学術研究振興資金に1件、女性研究者奨励金に1件の申請支援を行った。
- ・12月24日に「神戸常盤学術フォーラム」を昨年同様対面で実施した。会の前半は、次年度の看護学部開設に合わせて学内の研究活動をより活性化することを目的に、3学部3学科長をシンポジストとする「基調シンポジウム」と口頭発表、後半はポスター発表の各セッションを設け、盛会裏に終えることができた。
- ・昨年度同様に、本学に届いた「外部資金」募集案内を毎回オールメールでの全学的発信を行っている。
- ・本学の研究シーズ集の代替としてのresearchmapの充実を図るべく、学内に周知徹底を行った結果、更新状況の改善が図れた。

口腔保健研究センター

- ①地域住民並びに職員・学生の口腔健康を維持・増進するために地域社会活動を充実する。
- ②新歯科診療所を利用した社会貢献と研究体制を構築する。
- ③リカレント教育における口腔保健研究センターの役割の明確化

①地域住民並びに職員・学生の口腔健康を維持・増進するために地域社会活動を充実する。

1. 口腔保健活動

- ・歯科相談（歯ッピー相談会：KIT（ときわんモトロク・ときわんノエスタ・ときわんタルミ））を実施し、43組の親子が利用した。
- ・長田保健センターとの共催で行う大国公園の国際保健室活動（ベトナム人への健康支援）

を行った。

- ・神戸市保健所より 65 歳・75 歳の神戸市民を対象としたオーラルフレイルに関する事業を委託され、当学科で計画作成・実施した。
- ・ときわ健康フェスタに口腔保健学科教員 15 名が出務して、オーラルフレイルチェック、食事による栄養バランスチェック、お口の相談会、ストレスチェック等の健康関連プログラムを盛り立てた。
- ・そのほか、事務局の複数の部・課から個別に依頼された様々なイベントに関して、当学科教員・多数の学生ボランティアが協力した。

2. 歯科健診活動：以下の歯科健診を実施した。

- ・神戸常盤女子高等学校（627 名）、ときわ幼稚園（21 名）、大学新入生（398 名）に実施した。
- ・企業向け歯科健診として、3 月に太陽刷子株式会社にて社員 50 名に対して実施した。

②新歯科診療所を利用した社会貢献と研究体制を構築する。

- ・新歯科診療所で保険診療活動を行い、また、学生の歯科健診後の 2 次利用を促している。令和 6 年度、歯科診療受診者は 1,461 名であった。
- ・学生実習施設として以下の臨地実習の活動拠点となった。
（科目内容：3 年後期：発展臨地実習、3 年前期：応用臨地実習、2 年：基礎臨地実習、1 年：早期臨地実習）
- ・歯科診療、歯科健診を通じて国際学会発表 3 件、国内学会発表 5 件を行った。

③リカレント教育における口腔保健研究センターの役割の明確化

- ・現行の教育プログラムを、歯科診療所を利用した研修プログラムに改編した。
- ・過去のリカレント修了生に引き続き研修を受講するよう案内を行なった。
- ・リカレント受講者募集のため新規パンフレットを作成し、令和 7 年度は 3 名のリカレント受講者を迎えることになった。

子育て総合支援施設 KIT

詳細は「6 地域貢献」に記載。

ライフサイエンス研究センター

本学における唯一の遺伝子組換え設備を有するセンターとして、分子生物学研究、細胞生物学研究等の推進を目的として、本年度は以下の活動を行った。

1. ライフサイエンス研究センターの研究環境整備

ユーザーの希望が多かった化学発光解析装置の整備を行い、さらに純水作製装置の消耗品交換、インキュベータの CO₂ 濃度調節機能に不具合があったため、修理を行った。

ユーザー数、卒業研究等での学生の使用が増加したので、機器の配置を見直し、スペースの有効活用を進めた。

2. ライフサイエンス研究の推進

本年度は以下のテーマで研究を進めた。「マクロファージを標的とした輸血後鉄過剰症治療薬の探索」「CAR (Chimera Antigen Receptor) -T 療法を妨げるサイトカインストームに関する研究」「フィブリノゲン生成分泌制御機構に関する研究」「敗血症マーカープレセプシンの産生機序の解明」「歯周病原細菌が誘発する炎症応答におけるフラボノイドの作用機序解明」「Direct (RT)-PCR に適した新規酵素および反応液の開発と、臨床検査での使用機会の多い検体（血液由来検体、唾液検体）からのウイルス遺伝子検出への最適化」「オートファジーを介した好中球機能の制御機構の解明」「スプライシングを制御するアンチセンス核酸薬の開発」「培養上清における Titin の測定」「DMD 遺伝子の exon 1a のスキッピング誘導とジストロフィン発現との関係」「新規熱帯疾患コントロールツールの開発」

すこラボ（健康生活研究所）

【臨床研究】

現在、神戸大学との生活リズムに関する共同研究（科研 B）が進行しており、その成果のひとつについて論文を世界的有名雑誌に投稿中である。また、今年度は丹が科研 C を獲得した。この研究は、学内の布引研究室と協働して時計遺伝子多型と生活リズムとの関連という新たな視点を取り入れ、研究を進める予定である。以上、生活リズムに関する研究が順調に発展しており、この研究を本研究所の柱にする所存である。

【社会貢献】

今年度は、コミュニティハウスにおける健康相談会を 3 回開催した。加えて、10 月の健康フェスタにおいて講演を開催した。

【書籍の出版】

これまでの生活リズムの研究をまとめ、一般向けに「睡眠・食事・運動で変える 24 時間のリズム習慣」を学研より出版した。

4. 学園のブランド力向上に向けた間接広報の充実

学園のさらなるブランド力向上に向けた間接広報充実のための取組みとして、より戦略的な広報を学園全体で展開することを目的とし、大学、高等学校、幼稚園ともにホームページをリニューアルする。このほか、従前の JR および私鉄主要駅への広告掲載や SNS 広告、テレビやラジオなどのメディア媒体を活用した広報、あるいはヴィッセル神戸とのパートナーシップ契約に基づくヴィッセル神戸のホームページ等への本学ロゴの掲載、ノエビアスタジアム神戸でのホームゲーム時（ヴィッセル、アイナック）の子育て広場開催、ときワンが FC.AWJ の公式応援団長に就任するなど、広く学園のブランド力向上に繋がる広報を展開していく。

ホームページリニューアルもコンペを実施し、来年度公開で作業スタート。

JR 姫路駅でのデジタルサイネージをスタート。

8 月 25 日のヴィッセル神戸ホームゲーム試合開始前、MOS×神戸市消防音楽隊×神戸常盤女子高校吹奏楽部コラボパフォーマンスを実施。当日は、会場に玉田学園としてブース出店。キッズスペース運営含め、来場者へのインパクトが高いイベントとなった。

5. 学園内高大連携事業の推進

学生・生徒の確保、質の向上、職業意識の向上など双方のメリットのある事業を展開していく。関連施設である子育て総合支援施設 KIT の既存 3 施設（ときわんクニヅカ、モトロク、ノエスタ）に加え、令和 6 年度より「おやこふらっとひろば垂水（JR・山陽電鉄垂水駅前（神戸市垂水区）」が新たに加わるることとなることから、地域貢献は勿論のこと、より充実した教育連携等に繋がることを期待する。このほか、地域交流センター、国際交流センター、神戸市との共同プロジェクト「コミュニティハウス」の共同利用等により、地域貢献、国際交流等を通じた学生・生徒のスキルアップに繋がる事業を展開したい。

神戸常盤女子高等学校との連携については、毎年 4 月に実施される歯科検診への教員（歯科医師、歯科衛生士）の派遣や、1・2 年生を対象とした医療検査学科、看護学科、診療放射線学科、および口腔保健学科の各体験授業、特に、こども教育学科においては大学特進こども教育コースの科目「保育進学基礎」において、落ち葉や木の枝等を使った体験授業の実施など、体験授業を通じた生徒の専門職への理解、学習意欲の維持・向上等に繋がるようプログラム構成している。このほか、学年ごとに実施される女子高主催の進路説明会（業者説明会）、KOBETOKIWA 健康ふれあいフェスタの実施など、学園内での高大連携事業の推進に努めた。（【資料 1-2】参照）

6. 地域貢献

近年、学園に対する地域社会からのニーズは年々増加し、その内容も多岐にわたる。地域の要請に、より迅速かつ的確に対応するとともに、学生への教育効果を更に高めるため、地域交流センター（ボランティアセンター含む）を中心に、「地域の課題解決」や「まちの活性化」、「ボランティア（平時・有事）活動」などの幅広い活動を展開する。地域社会＝（イコール）学びのフィールドと位置付け、大学生・高校生は教育課程内外の様々な活動を通じて地域貢献を果たすと同時に、生き抜く力（いわゆる人間力）を身に付けることを目的に事業を推進する。また、大学の教学マネジメント改革により、新たに教育課程内の授業に地域活動を取り入れる。（授業科目名：「地域との協働 A」、「地域との協働 B」など）

また、コミュニティハウスで取り組む「まちの活性化プロジェクト」においては、地元の高い期待と神戸市の要請を受け、兵庫県・神戸市の協力のもと、平成 29 年度文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」を活用して、震災復興再開発地区の不活性エリア（新長田南地区）に、神戸常盤大学子育て総合支援施設「KIT」を開設。引き続き、未就園児から小学生まで切れ目の無い子育て支援事業を計画する。コミュニティハウスにおいても 4 回/年に健康チェックを本学主催で実施。

令和 3 年度にノエビアスタジアム神戸内に「ときわんノエスタ」と「てらこやノエスタ」を開設したことをきっかけに同スタジアムをホームとするヴィッセル神戸、INAC 神戸レオネッサのホームゲーム時にキッズスペースを運営し、ゲーム開催に協力している。

令和 6 年度より本学が運営する施設として 4 施設目となる「おやこふらっとひろば垂水」の運営を受託し、スタートさせる。

このほか、多文化共生を推進していく母体の片翼でもある「ときわ健康キャラバン」が「しんかいち国際保健室」、「カトリックたかとり教会」等で定期的に活動を行っている。

神戸国際コミュニティセンター(KICC)との協定をベースにした活動をさらに充実させていく。

各子育て支援施設の利用状況は次のとおり（ときわんタルミについては再掲）。

◎ときわんクニヅカ

【期間】令和6年4月1日～令和7年3月31日

【開園日数】234日

【利用者総数】8,770人

【1日あたりの利用者】37.5人

■てらこやクニヅカ

【期間】令和6年4月1日～令和7年3月31日

【実施回数】199回

【利用者総数】2,007人 ※本学学生ボランティア延べ371名を受入

【1回あたりの利用者】10.1人

◎ときわんモトロク

【期間】令和6年4月1日～令和7年3月31日

【開園日数】236日

【利用者総数】7,802人

【1日あたりの利用者】33.1人

◎ときわんノエスタ

【期間】令和6年4月1日～令和7年3月31日

【開園日数】242日

【利用者総数】6,821人

【1日あたりの利用者】28.2人

■てらこやノエスタ

【期間】令和6年4月1日～令和7年3月31日

【実施回数】106回

【利用者総数】744人

【1回あたりの利用者】7.02人

◎ときわんタルミ（おやこふらっとひろば垂水）

【期間】令和6年4月1日～令和7年3月31日

【開園日数】304日

【利用者総数】56,049人

【1日あたりの利用者】184.4人

その他、詳細は【資料1-3】のとおり。

7. 自治体・一般企業等との連携強化（「2. 中期事業計画」ともリンク）

魅力ある大学づくりの一環として、自治体あるいは一般企業等と連携協定を締結し、より充実した地域・社会貢献は勿論のこと、学生の学びのフィールドとしても活用していく予定。

協定に基づき、鋭意活動中。（２．中期事業計画－「**【新規】協定締結先企業主催イベントへの参加**」参照）

その他、詳細は【資料 1－4】のとおり。

Ⅲ. 神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部

1. 大学（短大部）の中期事業計画

学園ならびに大学の第Ⅱ期中期実行計画に基づき、魅力ある大学づくりを目指す。

計画に基づき、鋭意活動。詳細は、次項以降に記載。

2. キャリア支援の充実及び学生支援の充実

令和6年度も各学科就職委員会と連携の上、就職支援に取り組む。従来より推進する「キャリアサポーター（卒業生）」の参加型による在校生へのガイダンス、懇談会等は全ての学科で実施し、業界研究、職種研究等の就職活動の準備対策に繋げていく。また、診療放射線学科の就職支援に対しては、求人数を確保するため、学科と連携して求人開拓を行う。看護学科、こども教育学科の福祉施設の採用試験が早期化しており、新年度早々から学生対応を行っていく。

【医療検査学科】

臨床検査技師の求人については、3年次に業界研究、職種研究を行い病院以外の検査センター、健診センター、企業（治験）等の職種について、学生の職業観を醸成し、進路選択の幅を広げた就職支援を行う。

就職希望の多い地域の求人については、兵庫県内、地方（下宿生の地元）の開拓も含め、今年度は積極的に訪問件数を増やし、求人数の確保に努める。

【診療放射線学科】

第1期生が就職した施設や他学科で就職実績のある病院等を中心に学科教員、キャリア支援課職員で訪問する件数を増やし、今年度も引き続き求人確保のため、関連施設の訪問開拓を行い、就職支援に繋げたい。特に大阪近辺の求人を確保するため、重点的に訪問を行う。

【口腔保健学科】

今年度は大学1期生が3年次を迎える。企業、病院等の就職活動は、歯科医院の採用スケジュールに比べて早く、4年次早々に就職活動が開始できるよう学科と連携して支援していく。また、短期大学の卒業生も様々な施設で歯科衛生士として活躍しており、今後もキャリアサポーター（卒業生）として力を借り、学生の職業観の醸成を図りたい。さらに、近隣（兵庫県や大阪府）の口腔外科のある病院を中心に訪問し、病院からの求人確保に繋げていきたい。

【看護学科】

看護師の求人については、近年、減少傾向にある。また、試験日程の早期化、試験回数の縮小から、早期の就職活動が不可欠となっている。3年の4月よりガイダンスを計画しており、夏休み期間に実施するインターシップに積極的参加を促し、4年次早々の採用試験に対応できるよう支援する。

【こども教育学科】

就職先として小学校、幼稚園、保育園、福祉施設が主であるが、小学校教諭、公立幼稚園・保育所に関しては教職支援センターと連携して、採用試験対策を講じていく。民間施設については、県、市の外郭団体との信頼関係の中、毎年複数名が就職出来ており、今後とも関係を強化していく。

一般就職希望者に対しては、コロナ禍以前よりも採用試験が早期化していることから早期の試験に対応すべく、3年次前期より支援を行う。

【学生支援】

学生支援について、国の高等教育修学支援新制度（授業料減免、給付型奨学金）を多くの学生が利用していることから、大学独自の修学支援奨学金は、国の制度に漏れた学生を対象に支援する。

また、経済的に困窮している下宿学生を対象として食に対する支援を行う。

■進路決定者数

令和6年度就職状況（令和7年5月1日現在）

	卒業生	進学希望者	進学者	就職希望者	就職者	就職率
医療検査	81	2	2	77	77	100%
診療放射線	61	3	2	57	54	94.7%
看護	77	2	2	75	75	100%
こども教育	77	1	1	76	76	100%

令和6年度国家試験合格率

	受験者数	合格者数	合格率	全国平均（新卒）	全国平均
臨床検査技師	81	78	96.3%	94.0%	84.6%
診療放射線技師	61	60	98.4%	92.2%	84.7%
看護師	77	74	96.1%	95.9%	90.1%
保健師	12	12	100%	96.4%	94.0%

■キャリアサポーター（卒業生）による勉強会

【医療検査学科】

月 日	対 象	事 項	備 考
5月25日（土）	1年生	現場で活躍する臨床検査技師の話 明石医療センター、神鋼記念病院 尼崎総合医療センター はりま姫路総合医療センター 大阪大学大学院	対面

【看護学科】

月 日	対 象	事 項	備 考
4月27日（土）	全学年	先輩養護教諭の話を聞く会 神戸市立湊翔楠中学校、神戸市立高倉中学校、 神戸市立夢野の丘小学校	対面

7月12日（金）	3年生	ときわ病院について 入職2年の卒業生（2名）と交流	対面
8月22日（木）	3年生	先輩の話を聞く会 川崎病院、済生会兵庫県病院、 兵庫県立こども病院、神戸市立中央市民病院、 甲南医療センター、北播磨総合医療センター	対面

【診療放射線学科】

月 日	対 象	事 項	備 考
4月9日（火）	1年生	現場で活躍する診療放射線技師の話 明舞中央病院 （新入生オリエンテーション）	対面
8月31日（土）	3年生	就職内定者（4年生）の話を聴く会 岡山大学大学院（進学）	Zoom ※台風の影響により

【口腔保健学科】

月 日	対 象	事 項	備 考
4月9日（火）	1年生	現場で活躍する歯科衛生士の話 梅花女子大学、（株）デンタリード、 兵庫県立はりま姫路総合医療センター、 あしや喜楽苑（高齢者施設） （新入生オリエンテーション）	対面
10月31日（木）	2年生	先輩の話を聞く会 ひだか矯正歯科、久米おとなこども歯科、 第二大阪警察病院、ビーバー小児歯科	対面
2025年2月10日（月）	3年生	先輩の話を聞く会 兵庫県立リハビリテーション中央病院、豊中 市健康医療部健康推進課、YAMAKIN 株式会社	対面

【こども教育学科】

月 日	対 象	事 項	備 考
12月14日（土）	3年生	卒業生就職体験懇談会 尼崎市立塚口保育所、野上あゆみ保育園、 神戸常盤大学附属ときわ幼稚園、三木精愛園、 兵庫県信用組合	対面

■企業研究

【診療放射線学科】

月 日	対 象	事 項	備 考
8月31日（土）	3年生	（株）千代田テクノル、	Zoom

		コントレア（株） シーメンス（株）	※台風の影響により
--	--	----------------------	-----------

■一般企業関連

【こども教育学科】

月 日	対 象	事 項	備 考
4 月 25 日（木）	3 年生	マイナビ就職講座	対面
11 月 15 日（金）	3 年生	マイナビ就職講座	対面
1 月 24 日（金）	3 年生	マイナビ就職講座	対面

■各種団体との懇談会

【こども教育学科】

月 日	事 項
5 月 11 日（土）	姫路市私立こども支援機構
11 月 6 日（水）	神戸市私立幼稚園連盟

■各種講座

月 日	対 象	事 項	備 考
8 月 8 日（木）	診療放射線学科 3 年生	小論文対策講座	対面
9 月 4 日（水）	診療放射線学科 3 年生	自己分析講座、マナー講座	
9 月 20 日（金）	口腔保健学科 2 年生	マナー講座	
3 月 26 日（水）	口腔保健学科 2 年生	自己分析講座	
11 月 11 日（月）	口腔保健学科 3 年生	就職活動スタート講座	
12 月 24 日（火）	口腔保健学科 3 年生	小論文対策講座	
5 月 20 日（月）	看護学科 3 年生	就職活動マナー講座	
12 月 23 日（月）	看護学科 3 年生	履歴書面接対策講座	
3 月 4 日（火）	看護学科 3 年生	面接対策講座	
3 月 18 日（火）	看護学科 3 年生	小論文対策講座	
12 月 17 日（火）	こども教育学科 3 年生	マナー講座	

■令和 6 年度 修学支援奨学金

家計急変等の経済的な理由により修学が困難な学生を対象に募集を行ったが、今年度は該当者がいなかった。

※新入生 10 名、在校生 12 名 計 22 名の申請

■物価高に対する経済対策支援事業

- ・下宿を対象とした食費に対する支援

国際情勢に端を発する資源価格上昇に伴う物価高の影響への対策として、下宿生 129 名に学内の食堂およびコンビニで利用できる金券（3,000 円分）を配布する支援を行った。

3. 入学者の安定確保

近隣地域では本学と同系統の学科養成校が競合、また、18歳人口の減少などにより学生の確保がさらに激化することが想定される。全ての学科で入学者を安定的に確保するには、本学の特色と確たる実績を周知することで知名度を高めると共に在学生の自尊心を高揚させ、資質の向上を図り満足度を高める必要がある。そのためにも、学生募集戦略に立った日常的な広報活動に加えて、教職員一人ひとりが大学力の向上を目指す意識を持ちつつ、各委員会では議論を活発化させる中で情報を共有し、一層の連携強化・充実を図る。

医療検査学科は、長年に渡る教育の実績と「細胞検査士」の認定試験合格率の高さなどの強みをさらに周知する広報活動を行い質の高い入学者を確保する。

診療放射線学科は令和5年度に完成年度を迎え、1期生が卒業した。県内唯一の大学として、開設年次から年々志願者数は増加している。さらに学習内容の充実を図り、学力の高い入学生の確保に努める。

令和4年4月に開設した保健科学部口腔保健学科については、競合する養成校が乱立する中ではあるが、既存の学科が培ってきた充実したチーム医療を実践できる大学であることの強みを生かすと共に短期大学部時の教育実績・就職実績を基に、4年制になり歯科衛生士としての活躍の場が今後大きく広がってくることなどを積極的に広報する。

看護学科は令和7年度から「看護学部看護学科」へと進展する。長い歴史にて築いてきた実績及び進化した教育方針を明確に示し、看護職を志望する受験生が本学へ志向するような広報活動をおこない、質の高い入学者の確保に努める。

こども教育学科では中学校教諭一種免許状（理科）の取得が可能になったことを周知すると共に、ALL常盤で取り組んできた「ときわんクニヅカ」・「ときわんノエスタ」・「ときわんモトロク」等の「KIT」での活動が学生にとってまたとない実践の場であるとともに地域貢献の拠点となっていることについても積極的に広報することによって学生の確保を図る。

看護学科通信制課程においては、令和4年4月をもって募集停止となったため、令和6年度は在籍延期生のみとなる。令和6年度末には全ての学生が円滑に卒業できるように教員・職員で連携した学生指導を実施し、教育の質を落とすことなく学科運営に務めていきたい。

①指定校推薦型選抜において高校の要望を取り入れた入学者確保

医療検査学科 10名、診療放射線学科 22名、口腔保健学科 25名、看護学科 17名、こども教育学科 8名

<参考>昨年度実績

医療検査学科 9名、診療放射線学科 23名、口腔保健学科 36名、看護学科 14名、こども教育学科 17名

②高校訪問

本学の教育・研究内容を的確に伝え、本学に対する理解と興味関心を深めることを目的とした高校訪問延べ数は300校（昨年度訪問延べ数：250校）

③オープンキャンパス開催

3月、5月、6月、7月、8月2回、9月の7回開催

生徒の参加者数：1,642名（昨年度実績：1,719名）

現在、随時WEBにての個別相談、来校しての見学ができる旨をホームページにて告知し、

多数の相談、見学者が来学。

④業者主催入試説明会等

高校内進学ガイダンス、模擬授業などに積極的に参加。

参加実績：246 会場（昨年度参加実績：218 会場）

⑤看護学科通信制課程

当初計画どおり、令和 7 年 3 月 31 日の在学生の卒業を待って廃止。

⑥入試関係

令和 7 年度入学者選抜試験は以下のとおり。

・ 総合型選抜	・ 大学入学共通テスト利用選抜
・ 公募推薦型	・ 大学入学共通テスト利用選抜 2 次
・ 指定校推薦型	・ 社会的養護施設特別選抜
・ 一般選抜前期	・ 社会人特別選抜
・ 一般選抜中期	・ 外国人留学生特別選抜
・ 一般選抜後期	—

4. 自己点検・評価への取組

- ①第 1 期中期実行計画（2020 年度～2023 年度）の成果報告書をまとめ、これに基づき全学的な点検・評価を実施する。
- ②第 2 期中期実行計画（2024 年度～2027 年度）に基づく点検・評価の体制・方法を定め、PDCA サイクルの実行に向けた取り組みを実施する。
- ③学生による授業評価や卒業評価（卒業生、就職先）などのアセスメントを適切に実施し、教育の質の向上に結びつくようフィードバックを行う。
- ④ティーチング・ポートフォリオの作成を通して、各教員の教育活動の振り返りや改善を支援する。

①第 1 期中期実行計画（2020 年度～2023 年度）の活動をまとめた成果報告書を作成し、公開した。また、単年度（2023 年度）の各組織の活動に関して外部評価を実施し、得られた評価を学内で共有した。

②第 2 期中期実行計画（2024 年度～2027 年度）に基づく点検・評価の体制を整え、全学的に共有し、2024 年度年間活動計画を作成した。2024 年度終了時に各組織に成果報告書の提出を依頼し、現在は編集を行っている。これにより活動を振り返り、改善に繋げていく。

③2024 年度は、全学科において卒業生アンケートを実施した。また、診療放射線学科では、2024 年 3 月に初めての卒業生を送り出したため、就職先アンケートも併せて行った。アンケート結果は集計され、各学科で共有されており、今後の改善に活用していく。

学生による授業評価については、昨年度より集計結果がファイル形式で提供されるようになり、科目担当責任者だけでなく全ての担当教員にとって結果の共有が容易になっている。その結果、各教員は評価のポイントやコメントを受け止め、今後の授業スタイルの改善に役立てることができる。

- ④2024 年度も、教員の活動実績についてティーチング・ポートフォリオにまとめた。2 回目である今年度は、より教員が作成しやすくなるよう作成要領の見直しを行い、また今年度も作成理念を盛り込んだ資料を SD 委員会と連携し配信した。これにより、全専任教員に対して、「3 つのポリシーに基づいて教育の理念を明確化する」、「授業評価のエビデンスをもとに授業の改善を図る」、「準正課や正課外の教育活動を明確化する」などの効果が期待でき、実際に正課内外の授業、学生指導等について自己の取り組みをふり返ることができた。また、他者の考えや取り組みを参考にし、次年度に役立てることが可能となった。

5. 競争的資金の獲得

科研費への応募数が令和 5(2023)年度に過去最高となったことから、これを堅持するとともに、採択率のアップを目指した支援を行う。

研究の健全性・公正性、いわゆる研究インテグリティの確保に向けた取り組みの推進と、そのための管理体制の充実を図る。

教育学部の存在という利点を生かし、保健科学部における教育研究を推進し、高等教育としての質保証を図るための方略を検討する。

「すこラボ」を起点とした学科横断的な研究を支援していくとともに、この取り組みを全学的に拡張できるような支援の在り方を検討する。

①科学研究費助成事業

研究代表者分

継続分が 23 件、今年度新規分 7 件、合計 30 件が採択。

〔獲得金額〕直接経費：21,600,000 円、間接経費：6,480,000 円

※2024 年度科研費配分額順位 222 位/590 校（教育学術新聞より）

②AMED（日本医療研究開発機構）

研究分担者分

継続分 2 件が採択。

〔獲得金額〕直接経費：9,250,000 円、間接経費：2,775,000 円

③奨励金

日本教育公務員弘済会

〔獲得金額〕直接経費：700,000 円、間接経費：70,000 円

④神戸常盤学術フォーラム

12 月 24 日に対面で開催。

基調シンポジウム、一般公募演題、ポスター発表を合わせ 24 件の発表を行った。

6. 大学間連携事業の推進

大学コンソーシアムひょうご神戸に海外学生派遣プログラム＜フィールドワーク型プログラム＞を開放し、中心的な役割を担う。また、単位互換事業にも本プログラムを開放する。

詳細は「3 各センターの活動報告－国際交流センター」に記載。

7. 産学連携事業の推進

寄付や企業との連携を推進するために、researchmap の更新勧奨を含めた研究者情報の充実と発信を推進する。

地域社会における多文化共生の実現を目指し、保健、歯科衛生、教育、保育の分野での調査・研究を企画し推進する。

秘密保持契約締結企業との共同研究の実施に向けた支援を行う。

取得済の特許の実用化（技術移転）を目指し、積極的に学外への周知活動を行う。

①研究の健全性・公正性（研究インテグリティ）の確保

研究活動の透明性を向け researchmap 情報の充実を推進することで、更新率が 10%程度向上した。

②安全保障貿易管理体制の構築

安全保障輸出管理規程を 2024 年 4 月 1 日付けで施行した。

③知的財産の管理

特願 2024-087445 にて申請した特許（名称：放射線検出器）を出願した（登録日：令和 6 年 5 月 29 日）

特願 2024-189149 にて申請した特許（名称：教育サポートシステム）を出願した（登録日：令和 6 年 10 月 28 日）

本学が権利を「承継」することが決定した発明 3 件について、出願前譲渡を行った。

IV. 神戸常盤女子高等学校

1. 第Ⅱ期中期実行計画

建学の精神のもと紡いできた教育を基礎に、社会の変化に対応する教育活動を推進するため、第Ⅱ期中期実行計画を定める。

- (1) 個々に最適な学びと協働的な学びの創造
- (2) 2学科7コースの教育課程の実践
- (3) 環境変化（高大接続改革）を活かした進学実績の向上
- (4) 男女共同参画社会における女子教育メソッドの構築
- (5) 国際理解教育の計画立案と推進
- (6) 特別な指導や支援が必要な生徒への組織的対応
- (7) 高大連携（学园内交流）の推進
- (8) 教職員の持続的な成長を支える組織や文化の形成
- (9) 教育環境の整備
- (10) 募集対策の強化

目標達成に向けて鋭意活動を行った。詳細は、次項以降に記載。

2. 教育課程

(1) 教科指導

- ①異なる歴史・文化・社会を背景にもつ多様な人々と共生する平和な社会を構築していくための力を養う。
- ②基礎的な知的学力に加え、「思考力」や「実践力」等の学力（21世紀型学力）の育成を目標とした学習を各教科、総合的な探究の時間において展開する。
- ③ICT 機器を活用した効果的な学びをすすめるとともに、学校文化が内包している協働的な学びを組み合わせた教科指導を展開する。

■各学科コースの取り組み

[家・調理製菓コース]

- ・外部講師による特別授業(調理製菓実習)
[みかしほ学園、大阪調理専門学校、神戸国際調理専門学校、神戸製菓専門学校]
 - * 和菓子甲子園近畿大会出場（激励賞）
 - * 泉州美食 EXPO「TEAM EXPO2025」「Z世代が考える万博弁当」採用
 - * 「万博弁当」販売（明石ビブレ）
- ・卒業製作発表会[3年]

[家・服飾コース]

- ・外部講師による特別授業(ウォーキング講習、色彩検定講習、ヘアメイク講習)
[上田安子服飾専門学校、色彩検定協会、ベルエibel専門学校]
 - * 全国高校生デザイン画コンクール 神戸市長賞(坪井)

- ＊ 全国高校生ウェディングドレスデザイン画コンクール 神戸市長賞(坪井)
- ＊ 高校生ファッションデザイン画コンテスト 審査員賞(坪井)
- ・ 校外学習(企業訪問)
 - 株式会社マキシン
- ・ ドレス展 (明石ビブレ:10/22)
- ・ 針供養 (厳島神社:2/8)

[家・全コース]

- ・ テーブルマナー講習(1/22)

[普・看護医療コース]

- ・ 医療分野に特化したオンライン英会話

■「総合的な探究時間」の取り組み ※家庭科は課題研究で読み替え

[普・総合/進学コース]

- ・ 専門講師による実習・講義
 - ＊ 神戸韓国教育院、尼崎理容美容専門学校、神戸医療福祉専門学校
 - 関西健康科学専門学校、神戸電子専門学校、神戸ブレーメン専門学校
- ・ 「自分の未来図」をテーマにグループワーク
 - ＊ 「“ワタシ”のビジョンを考える」 兵庫県企画部計画課
 - ＊ 「あなたにぴったりの仕事とは？」 流通科学大学教授

[普・キャリアコース]

- ・ 学校設定科目「トキワアクト」における活動
 - ＊ 菜園活動(学校農園での栽培)
 - ＊ 校外学習(ドンキーバレー、老人ホーム花みさき、北淡路農業改良普及センター、淡路市鳴門オレンジ圃場でのボランティア)
- ・ 探究発表会

[普・文系コース]

- ・ 多文化共生・異文化理解をテーマとした学習
 - ＊ ネパール(ハチガンダ福祉協会)とのオンライン交流
 - ＊ JICA 隊員とのオンライン交流
 - ＊ 校外学習(鷹取コミュニティセンター、ネパール料理ダルマ食堂、神戸ムスリムモスク、プラトン美術館)
 - ＊ アジア女性自立支援プロジェクトボランティア(フェアトレード商品の販売)
 - ＊ 校外学習(神戸ムスリムモスク)
 - ＊ 大学ラーニングコモンズ参加
 - ＊ アンケート調査(協力:兵庫高校)を実施
- ・ 探究発表会

[普・こども教育コース]

- ・学校設定科目「こども教育基礎」における活動
 - *神戸常盤大学教育学部体験授業
 - *ペープサート・ミュージカルの上演
 - *校外学習(子育て支援センターKIT)
 - *大学E科と干し柿づくり
 - *ときわ幼稚園見学実習
- ・探究発表会
- ・ピアノ個人レッスン受講者発表会
- ・合格体験発表会*文系コースと合同

[普・看護医療コース]

- ・外部講師(医療関係者)による体験実習・講演
 - *神戸常盤大学保健科学部
 - *神戸総合医療専門学校(視能訓練士、理学療法士、臨床工学士)、
 - *神戸医療福祉専門学校(義肢装具士、臨床工学士、作業療法士、言語聴覚士)
 - *卒業生(現役医療従事者)
- ・ときわ病院見学実習
- ・神戸常盤大学看護学科演習室見学
- ・探究発表会

(2) 特別活動

- ①学校行事を通じて他者とのコミュニケーションを図りながら協働的に問題を解決する資質や能力を育むことをめざす。
- ②学校行事において生徒が獲得すべき達成目標と指導者の教育目標を明確にしつつ、充実した内容になるよう立案する。
- ③地域のコミュニティ、団体、企業等の参画を得て生徒の人格形成をはかるとともに地域づくりに学校・生徒が寄与する取り組みを追求する。
- ④レジリエンスを高める現代版女子教育を特別活動に位置づけ実施する。

- ・入学式(4/9)
- ・オリエンテーション合宿(5/19~21) ハチ高原
- ・第1回 T-girls ラボ[2年](5/24) 講演: 村上文香 氏(フリーアナウンサー)
- ・陸上競技大会(5/10) 王子スタジアム
- ・世界パラ陸上選手権大会学校観戦会[全学](5/23) ユニバ記念競技場
- ・修学旅行[3年]北海道(6/13~17)
- ・第2回 T-girls ラボ[家服飾](6/19)「芸術文化論」聴講 フェリシモ矢崎社長
- ・第3回 T-girls ラボ[1年](6/20) 性教育実習(県立総合衛生学院)
- ・第4回 T-girls ラボ[2年](6/25)「Z世代のコンセプションケア」講師: 小さないのちのドア
- ・文化祭[全学年](10/5、6)
- ・第5回 T-girls ラボ[1年](10/29)「働く女性のライフプラン」

講師：岡本吉加氏/小畑真理子氏（ヴィッセル神戸）

- ・ときわ健康ふれあいフェスタ(11/3) 神戸常盤大学 約 85 名の生徒参加
- ・秋季遠足(11/12)
- ・芸術鑑賞会(11/25)
- ・第 6 回 T-girls ラボ[3 年](12/13)「プレコンセプションケア」
- ・第 7 回 T-girls ラボ[3 年](12/16)「卒業後の進路に向けての行き方」

講師：谷口秀明氏（神戸常盤大学）

- ・球技大会[3 年](1/16)
- ・震災追悼式(1/17)
- ・修学旅行[2 年]沖縄(1/22～26)
- ・第 76 回卒業証書授与式(2/21)

（３）教育課程の検証

- ①学習指導要領の改訂をうけて立案した教育課程を検証し、一層の強化・拡充を図る。
- ②「国公立進学」にも対応した教育課程、コース編成を図る。

- ・令和 8 年度に向けたコース制再編と新教育課程の立案と検討（7 月～）

家庭科 60 名 ＊2 年次から調理・製菓コース／服飾コース

普通科 225 名

内訳）未来創造コース	105 名	
特別進学コース	30 名	
こども教育コース	30 名	
看護医療コース	60 名	＊2 年次から看護コース／医療コース

3. 進路指導

（１）進路指導体制の充実

- ①個別学習支援サービスを提供する（株）スクール TOMAS と提携し、生徒の個性や学習差に合わせた支援を実施する。
- ②IR を活用した分析を基に効果的な進路指導の実現を図る。
- ③多様な受験に対応するための情報収集と進学先・就職先の拡充を図る。

■全体

- ・面接指導[3 年](4/17・18)
- ・進路講座[3 年](4/19)
- ・進路ガイダンス[3 年](4/15・16)
- ・進路説明会[保護者](4/22、23)
- ・進路関係講話&説明会[2 年](6/4・5)
- ・進路講座[2 年](6/19) リクルート(オンライン)
- ・夏期講習・補習[全体](7/22～26)
- ・進路講座[1 年](10/30)
- ・進路講座[2 年](11/12)
- ・冬期講習[1・2 年](12/24, 25)

- ・就職ガイダンス[2年](3/10)

■進学

- ・進学希望者個人面談[3年](7/22～24)
- ・進学希望者 A0 模擬面接[3年](7/22～24)
- ・学習合宿[1・2年特進](8/21～23)須磨寿楼

■就職

- ・就職セミナー[3年](4/22、5/2、6/3、6/10、6/25、7/1、8/10)
- ・進路フェア[3年](6/5) 業界研究会、雇用対策協議会、洋菓子協会説明会
- ・就職希望者説明会[3年](7/4、5)
- ・就職希望者個人面談[3年](7/25～26、8/1～2)
- ・就職希望者模擬面接[3年](7/22～24)
- ・就職希望者三者懇談会[3年](8/7～9)
- ・就職ガイダンス[3年](8/16)外部講師
- ・就職模擬面接[3年](9/4)ハローワーク
- ・社会人準備講座[3年](11/1、11/5、11/11、11/18、12/11、12/16、1/8、1/14、2/4、2/7、2/14)

*就職希望者：27名〔内訳〕学校紹介(24)、縁故・その他(3)

内定者：25名 内定率：92.6% (10/17現在)

(2) 個々のニーズに対応した学習支援

- ①夏期講習・学習合宿の実施。
- ②放課後の自主学習教室（仮名）の実施（9月～）。
- ③ピアノ個人レッスン。
- ④介護初任者研修。
- ⑤チューター制による自習室の開設（4月～7月）。
- ⑥外国語を母語とする生徒の支援。
- ⑦各種検定試験・資格取得の支援。
- ⑧就職・社会人セミナーの実施。

- ・ピアノ個人レッスン(4/24～)
- ・食物調理検定(6/20、6/26、27、28)
- ・色彩検定講習(6/25、9/10、9/19)
- ・漢字検定(6/29、11/2)
- ・ビジネス文書実務検定(6/30)
- ・介護初任者研修(7/13～9/14) *受講者13名全員が認定
- ・夏季講習・補習(7/22～26、8/21～27)
- ・T-room(9/1～) *登録者数80名
- ・情報処理検定(9/22、1/19)
- ・英語検定(5/31、9/27、1/17)
- ・サービス接遇検定(11/9)

- ・色彩検定(11/10)

4. 生徒指導

(1) 特別支援

- ①発達障害をもつ生徒への合理的配慮が法的義務となることをうけ、特別支援校内委員会を中心に検討し対応する。
- ②病気療養中、不登校生徒に対するオンライン授業、オンデマンド型授業、単位認定等について議論を深め適宜対応する。
- ③家庭環境に課題を持つ生徒に対し、こども家庭センターやサポートセンターとの連携を取りながら対応する。

- ・神戸常盤大学 SC 利用生徒(8 名) *延べ 40 回利用
- ・病気による要支援生徒(2 名)
- ・こども家庭センターとの連携事案(4 名) 7

(2) 危機管理

- ①危機管理マニュアルの更新を図るとともに、学校安全計画を立案して安全管理と安全教育を推進する。
- ②防災訓練を実施する。

- ・危機管理マニュアルの更新
- ・学校安全計画に基づき学内の点検と安全教育の実施(4 月～6 月)
- ・防災避難訓練(9/6)
- ・安全衛生委員会(12/10)

(3) 人権教育・消費者教育・主権者教育の推進

- ①ネット犯罪、いじめ、薬物乱用防止、性教育等に対応した講習会を企画・立案する。
- ②社会に参画する活動(地域交流、ボランティア等)や生徒会活動を通じて主権者・消費者として社会の課題に向き合う力を育む。

- ・子宮頸がん予防啓発 LOVE49 キャンペーン KOBE(4/14)吹奏楽部
- ・花水木まつり(長田神社)[吹奏楽部・ボランティア部](4/29)
- ・モンタンカ人形教室[家庭科希望者、ボランティア部](6/24) 神戸市在住ウクライナ避難民との交流
- ・第 8 回定期演奏会[吹奏楽部]*FOP 募金
- ・西代蓮池公園清掃ボランティア[ボランティア部]
- ・細田児童館学童支援ボランティア[ボランティア部]
- ・ウクライナ避難民七夕交流会[ボランティア部]
- ・細田児童館水遊びボランティア[ボランティア部]
- ・ワークキャンプ[希望者](7/30～8/7) *63 名が参加
- ・生徒自主活動/フクシマ合宿[有志生徒](8/21～23)
- ・フードドライブ活動[ボランティア部]

- ・ぼうさい国体[有志生徒](10/19・20)
- ・福祉教育活動[3年](11/13)
- ・Notre Dame Trophy English Presentation Contest 本選出場 [有志生徒]
- ・長田区の未来を描こうワークショップ「ながたミラコレ」[有志生徒]
- ・1.17KOBE に灯りを in ながた[有志生徒](1/17) *79 名が参加
- ・ひょうご安全の日のつどい[有志生徒](1/17)
- ・高校生フォーラム震災から考える平和[有志生徒]
- ・あすばユース震災語り部隊[有志生徒]
- ・ひなまつりイベント（西区玉津庁舎）[有志生徒](3/1)

(4) 制服の見直し

①学用品審議委員会、生徒会を中心に制服の令和7年導入をめざす。

- ・新制服の完成（6月）
オープンスクールにて中学生に公開

(5) 生徒会活動の一層の強化

- ①主権者教育の実践の場として位置づけ、生徒会の年間計画や運営を支援する。
- ②学校行事への参画により望ましい人間関係の形成が図られるよう支援する。
- ③よりよい学校生活づくりへの参画により、問題解決のための自主的、実践的態度を醸成する。

■生徒会行事

- ・対面式(4/10)
- ・部活動紹介(4/11)
- ・高校総体壮行会(4/26)
- ・生徒総会(5/29)
- ・文化祭(10/5.6)
- ・生徒会会長・副会長選挙(11/1～11/11)
- ・予餞会(2/14)

■体育部

[弓道部]

- ・神戸市民体育大会 個人3位(境)
- ・兵庫県民スポーツ大会 個人4位(本原)
- ・兵庫県高校総体 団体3位 個人9位(中野)
- ・近畿大会出場(団体・個人)

[バレーボール部]

- ・兵庫県高校総体 準優勝 優秀選手(新田、河野)
- ・近畿高等学校バレーボール大会 第3位
- ・兵庫県私立高等学校バレーボール大会 優勝
- ・国民スポーツ大会兵庫県選抜(新田) 5位

[ソフトボール部]

- ・兵庫県高校総体 第3位 優秀選手(打田、和田)
- ・近畿大会出場

[卓球部]

- ・兵庫県高校総体神戸市予選 団体3位、シングル3位(村田)、ダブルス3位(村田・清水)
- ・兵庫県高校総体 シングルベスト16(村田)
- ・近畿大会出場
- ・神戸市新人大会 ダブルス2位(村田・本山)、ダブルス3位(清水・木村)
- ・兵庫県高等学校新人卓球大会 団体2位
- ・近畿高等学校新人卓球大会 団体5位
- ・全国高等学校選抜卓球大会出場

[バトントワリング部]

- ・全国高等学校総合文化祭マーチング・バトントワリング部門(兵庫代表)
- ・バトントワリング神戸大会 優秀賞
- ・バトントワリング兵庫県大会 3位
- ・バトントワリング関西大会 優秀賞
- ・関西中学・高校バトントワリング大会 金賞

■文化部

[書道部]

- ・高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会 日本武道館賞(玉井)
- ・ふれあい書道展 筆都大賞(玉井)
- ・全国硬筆作品展覧会 書道大賞(玉井)
- ・全国高校書道展 準特選(江口、玉井)

[演劇部]

- ・兵庫県高校総合文化祭演劇部門 最優秀賞
- ・近畿高等学校演劇研究大会 最優秀賞 創作脚本賞
*全国大会(R7年7月)出場

[美術部]

- ・兵庫県私学総連合会美術展 優秀賞

[ボランティア部]

- ・高校生ともしびボランティア顕彰(アワード)受賞

5. 募集対策

(1) 募集活動の強化

- ①女子高校としての魅力ある特色の発信、とりわけ第1次改革(+CHANGE)の周知を図る。
- ②各中学校での進路講話への参加と中学生の本校訪問の拡大。
- ③塾への訪問説明、塾対象の説明会の開催。
- ④中学生保護者、中学教員を意識した広報活動の展開。

■進路講演会

- ・神戸（星陵台、舞子、烏帽子、上野、高倉、丸山、長田、向洋、福田、歌敷山、山田、桜宮、鈴蘭台、西神、王塚台、押部谷、御影、本多聞、筒井台、葺合、櫛谷、夢野、長坂、有野、桃山台、魚崎、多聞東、）
- ・東播（播磨南、朝霧、高丘、衣川）

■合同説明会

- ・西宮市(9/8)
- ・神戸市(10/2)
- ・稲美町(10/4)
- ・淡路市(10/8)
- ・明石市(10/20)

■塾対象説明会

- ・明光義塾進路相談会(9/7)
- ・塾対象説明会(9/25)神戸駅前研修センター（21校 23名参加）
- ・塾ミーティング（11/26）

■塾訪問並びに情報収集

法人本部の協力を得て実施

■その他

- ・神戸市中学家庭科研修会（7/30）本校にて
- ・家庭科ドレス展(10/12)明石ビブレ
- ＊ドレス展示、ケーキハウス展示、万博弁当販売、フェアトレード商品販売

（２）オープンスクールの内容の検討

	中学生	保護者	合計
第１回オープンスクール(7/27)	229名(317名)	196名(299名)	425名(616名)
第２回オープンスクール(9/14)	241名(295名)	210名(280名)	451名(575名)
合 計	470名(612名)	406名(579名)	876名(1191名)

※第２回は台風の影響で９月１４日に延期

※表中（ ）内数字は令和５年度来場者数

（３）学校説明会・入試説明会の効果的な内容の検討

見学会来校者数

	中学生	保護者	その他	合計	備考
第１回(10/19)	30名	29名		59名	
第２回(10/26)	33名	32名	1名	66名	
第３回(11/2)	27名	29名		56名	
第４回(11/9)	66名	47名	5名	118名	家庭科体験 Day
第５回(11/16)	57名	50名	7名	114名	特進体験 Day
第６回(11/24)	48名	46名		94名	

第7回(11/30)	78名	72名		150名	
第8回(12/8)	72名	68名	1名	143名	
第9回(12/14)	51名	46名		97名	
合 計	462名	419名	14名	895名	

応募者数

	家庭科	普通科				合計
		総合	看護医療	こども	文系	
専願	61名	28名	50名	39名	7名	184名
併願	94名	59名	73名	44名	15名	285名
合計	155名	87名	123名	83名	22名	469名

入学者数

	家庭科	普通科				合計
		総合	看護医療	こども	文系	
	70名	45名	51名	42名	8名	184名

(4) 本校の魅力ある教育活動、在校生・卒業生の活動の発信

- ①ホームページの更新と内容の改善
- ②学校案内、広告等の内容を検討
- ③広報紙「ときわ」「ときワンDM」の作成・配布

■進路相談会（外部主催）

- ・ホテルヒューイット甲子園（7/28）主催：私学連合会
- ・須磨パティオ(8/4) 主催：トモプランニング(Dジャーナル)
- ・アクリエ姫路(8/11) 主催：私学連合会
- ・神戸サンボーホール(8/17、18)主催：私学連合会
- ・神戸国際展示場2号館(9/7) 主催：明光義塾
- ・甲南大学西宮キャンパス CUBE(9/8) 主催：神戸新聞事業社
- ・あかし市民広場パピオス明石(10/20) 主催：
- ・伊丹市スワンホール(10/27) 主催：トモプランニング(Dジャーナル)
- ・淡路市東浦進学相談会（11/27）

■地域情報誌

- ・ぷらっと（垂水・須磨・西区・明石エリア）
4月号、6月号、8月号、10月号、11月号掲載
- ・ビバ・ニュータウン(妙法寺・須磨NT・学園都市・西神南・西神NT)
5月号、6月号、8月号、9月号、10月号

■サンテレビ

- ・「NEWS×情報キャッチ+」（8/13）
- ・「NEWS×情報キャッチ+」（8/20）
- ・「あんてなサン」（10/6）
- ・「NEWS×情報キャッチ+」（10/8）
- ・「有名私立高等学校受験ナビ」（10/20）

■ ヴィッセル神戸（ノエビアスタジアム）（8/25）

- ・ MOS×神戸市消防局×吹奏楽部の演奏コラボ
- ・ 大学と合同出展

■ Kiss FM KOBE

- ・ 吹奏楽部 2 名がラジオで生出演 8/21
- ・ オープンスクール、学校見学会の告知 CM

■ 大阪進研

- ・ 進研ジャーナル 春夏号、秋冬号
- ・ 学習塾対象の「兵庫県公立高校入試問題集」に広告掲載
- ・ 大阪進研 HP にイチオシ私学として紹介

6. 高大連携（学園内交流）強化

（１）高大連携協議会を設置し、教育活動における連携を維持・発展させる。

- ・ 大学看護学科体験授業〔2N〕（6/11）
- ・ 大学診療放射線学科体験授業〔1N〕（6/28）
- ・ 大学口腔保健学科体験授業〔2N、U、進〕（9/4）
- ・ 大学こども教育学科体験授業〔1、2E〕（10/9）

（２）地域交流センター、ボランティアセンター、国際交流センターとの連携を図り、地域学校協働活動を展開する。

- ・ 夏休みにおけるボランティア（TVC）他

（３）高大入試協議会を通じて、大学との連携を図る。

- ・ 令和 7 年度入試 神戸常盤大学受験生徒 45 名
内訳：看護学部/看護学科（15）
保健科学部/医療検査学科（1）、診療放射線学科（4）、口腔保健学科（11）
教育学部/こども教育学科（14）

（４）IR 室との連携を図る。

- ・ 部活動奨学生の進路状況分析を依頼

7. 職員研修

（１）教職員研修

- ①危機管理（防災・防犯・救急救命法等）。
- ②人権教育（発達障害を持つ生徒への合理的配慮等）。
- ③生徒指導（学級経営、生活指導等）。

- ・ 育友会総会講演会「少子高齢化社会における口腔保健の重要性」講師：大学 山城先生
- ・ 演劇教育講演会並びにワークショップ 講師：平田オリザ先生

(2) 教科内研修

- ①教科の研究授業。
- ②ICT 教育。

- ・ 各教科における研究授業

国語（11/28, 1/16, 2/7）、地歴公民（10/15, 10/30, 11/11）、数学（1/10）、理科（9/17）
保健体育（10/29）、英語（12/2）

8. その他

「業務改善」「意識改革」「制度改革」に係る環境整備を実施する。

- ・ 年変形労働時間制の導入
- ・ 勤管理システム（HAMOS）の導入

V. 神戸常盤大学附属ときわ幼稚園

1. 教育充実

①教育課程に則った保育充実

- ・教育課程に沿った保育計画と実践
- ・「体験を通じた学び・主体的な子どもの育ち」を見据えた保育の充実

②体験プログラムの導入

- ・基本的な運動能力をのばし、目標に向かって頑張る主体性を身につけることなどを目指し、アシックスの講師による運動教室を実施
- ・英語や異文化に触れることを目的とし、神戸常盤女子高校のベンジャミン教諭の協力のもと「英語で遊ぼう」を月1回実施

③教員研修の充実

- ・園内研究会・研究保育の実施
- ・令和4年度から実施中のドキュメンテーション研修の継続
- ・園外で実施されている研修への参加

④大学との連携（下記「6 大学との連携」に記載）

①教育課程に則った保育充実

- ・教育課程に沿って年間カリキュラム、週日案を作成
- ・子どもたちの育ちに沿った保育を進められるよう保育計画を立案・実践する共に主体性を育ていけるよう自分で考え行動していける活動を増やすように努めた。

②体験プログラムの導入

- ・アシックス
満3歳児～5歳児対象に年間17回実施
基本的な運動能力をのばし、目標に向かって頑張る主体性を身につけることなどを目指し実施。
- ・英語で遊ぼう
1学期は4,5歳児、2学期からは3～5歳児を対象に年間10回実施
神戸常盤女子高校のベンジャミン教諭にも親しみ英語に触れて遊ぶことを楽しんだ

③教員研修の充実

- ・園内研究会・研究保育の実施
- ・令和4年度から実施中のドキュメンテーション研修の継続
- ・園外で実施されている研修への参加
- ・12月10日に研究保育を実施
- ・特別支援やマネジメント研修など幼稚園連盟などが主催する研修に参加
- ・校区である蓮池小学校主催の幼保小中研修会に参加（8/16、11/20）

④大学との連携

- ・下記「5 大学との連携」に記載

2. 子育て支援事業の推進

①ちゅうりっぷ組（2歳児クラス）

- ・週3日（月・水・金）開催
- ・2歳児のみ登園 5月より
- ・2学期より在園児と同じ14時まで保育を行い、給食・預かり保育を導入
- ・満3歳児入園希望への対応

②こりすクラブ（0～3歳児）

- ・年間 第1火曜日・第3木曜日開催 親子登園
誕生会やママカフェ（母親交流）を実施

③育児相談事業

- ・4月～翌年3月（72日） 保護者の要請に対応

④兵庫県・神戸市補助対象事業

- ・在宅子育て応援事業（乳幼児子育て応援事業からの名称変更）
- ・親子学級
- ・みんなの幼稚園事業

⑤預かり保育事業

- ・年間220日（長期休暇中を含む）
- ・保育終了後～18:00まで
- ・保護者が就労している家庭が増えているため、預かり保育終了時刻を延長。長期休暇中の預かり保育実施日を増加。

⑥子育て支援カウンセラー事業の充実

- ・兵庫県補助事業
- ・保護者相談や教員への指導助言を実施

①ちゅうりっぷ組（2歳児クラス）

- ・週3日（月・水・金）開催
- ・5月より週3回実施。 年間94回
- ・2学期より在園児と同じ14時まで保育を行い、給食を導入。
2024年度より8月の夏期保育時も登園。
- ・在籍5名のうち、4名が満3歳の誕生日を迎えた時点でプレクラスから正式に満3歳児として入園した。
- ・預かり保育を3学期から導入。

②こりすクラブ（0～3歳児）

- ・年間 第1火曜日・第3木曜日開催 親子登園
誕生会やママカフェ（母親交流）を実施
- ・4月～10月まで第1火曜日・第3木曜日開催 親子登園 年間9回
- ・利用者数 延べ65組（親子）
- ・平均参加人数 7組
- ・2024年度より誕生会やママカフェ（母親交流）を実施。誕生会は学期に1回、ママカフェを年間2回実施した。誕生会実施時は新規参加者が2～3名増えその後の参加に繋がっている。ママカフェは子育ての悩みや遊び場の情報交換などを話題としながら5～7名程度の保護者が参加した。

- ・夏期休暇中は園庭開放を2回と未就園児対象夏まつりを開催。延べ30組が参加した。
- ・長田区が発信しているため、マップや本園のSNSを利用し広く周知してもらえるよう努めた。

③育児相談事業

- ・4月～翌年3月（72日） 保護者の要請に対応

④兵庫県・神戸市補助対象事業

- ・在宅子育て応援事業
- ・親子学級
- ・みんなの幼稚園事業
- ・子育てセミナー 12月5日 おこづかい教室
2月25日 人形劇
3月3日 音楽を楽しもう

⑤預かり保育事業

- ・年間220日（長期休暇中を含む）
- ・保育終了後～18：00まで
- ・保護者が就労している家庭が増えているため、預かり保育終了時刻を延長。長期休暇中の預かり保育実施日を増加。
- ・＜平日＞年間 183日実施 平均利用園児数1日：4名
- ・＜長期休暇中＞ 実施日数 34日 平均利用園児数4人（83日）：362人

⑥子育て支援カウンセラー事業の充実

- ・兵庫県補助事業
- ・保護者相談や教員への指導助言を実施
- ・看護学科教員協力のもと、主に特別な配慮を要する子どもへのかかわり方の助言を受けたり保護者依頼があれば相談事業を実施
- ・毎月第2金曜日に実施
- ・カウンセラー：看護学科 岩越美恵教授

3. 園児募集対策

①未就園児保育の充実

- ・こりすクラブ、ちゅうりっぷ組の保育充実を図り入園に繋げる
- ・夏祭り、運動会、親子体操など未就園児が参加できる行事への案内

②子育て支援センターとの連携

- ・実施している訪問事業「幼稚園の先生と遊ぼう」を継続し連携を強化
- ・夏期休暇中に実施する夏まつりや、クリスマス会など園での行事への参加案内と送迎バス運行の実施

③通園バスの広域運行

④特色ある教育の推進

- ・体験を通した育ちをHPやブログ、園だより、SNSなどで発信
- ・ドキュメンテーション（写真を利用した保育記録）を活用し、より保護者に分かりやすく保育の発信をする

①未就園児保育の充実

- ・ちゅうりっぷ組は上記 2-①、こりすクラブについては 2-②に記載のとおり。
- ・園職員数の不足により、こりすクラブについては 11 月以降の実施回数を減らさざるを得なかったが、長期休暇中（冬休み、春休み）については内容の充実を図り、実施した。

②子育て支援センターとの連携

- ・ときわん 3 施設への訪問は 10 月までは月に 1 度実施。園教諭による「幼稚園の先生と遊ぼう」を開催した。以降は長期休暇中のみとなったが平均して 7～8 組の参加があった。
- ・夏期休暇中（8 月末）には入園説明会の実施が解禁されていたため説明会の実施願書配布などを行った

③通園バスの広域運行

- ・ときわんノエスタからの問い合わせが増えているため、2024 年度よりノエスタ方面への運行を開始した。

④特色ある教育の推進

- ・1-①に記載したように、子どもたちが自ら考え経験から得た力をつけていけるように保育実施に努めた。
- ・HP をリニューアルし、動画なども使いながら保育内容を広く発信した。

4. 危機管理対策

①園児指導 職員研修（防災・防犯・交通安全）

②避難訓練 年 3 回実施予定

③施設設備の点検と避難経路確保

①園児指導 職員研修（防災・防犯・交通安全）

- ・園児指導、職員研修
- ・3 月 10 日 交通安全教室実施

②避難訓練 年 3 回実施予定

- ・6 月 11 日、11 月 11 日、1 月 17 日 避難訓練実施（防災訓練、園児指導、職員研修）

③施設設備の点検と避難経路確保

- ・園内安全点検：職員が毎月実施
- ・園庭：ムクノキ剪定（腐食による事故防止及び園庭張りだし部分の擁壁の安全面配慮）

5. 大学との連携

①実習生受け入れ

②キッズクラブ及び子育てセミナー講師

こども教育学科の教員を中心に、大学教員の協力を得て実施

③発達に関するカウンセリングの継続実施

看護学科教員による保護者対象の発達相談の実施

④研修講師

①実習生受け入れ

<こども教育学科>

6月5日～ 2年生 空きコマボランティア受け入れ開始
7月8日 4年生 ゼミ生「お話し会」開催
9月12日・13日 1年生 観察実習受入
9月17日～20日 2年生 基礎研究演習受入
2月21日 2年生 人形劇実施

<看護学科>

10月30日・31日、11月5日・6日、11月27日・28日、12月4日・5日、
12月18日・19日 母子支援実習受入

<口腔保健学科>

6月11日 歯科健診
6月18日～27日、7月2日～11日 応用臨地実習受入

②キッズクラブ及び子育てセミナー講師

こども教育学科の教員を中心に、大学教員の協力を得て実施

・キッズクラブ講師・こども教育学科

5月24日 「カブトムシを育てよう」 笹井隆邦准教授
6月18日、9月19日、11月14日、1月22日 「哲学しよう」 京極重智講師
7月10日 「わらべ歌やリズムで遊ぼう」 中西利恵教授
11月18、25日 「体を動かして遊ぼう」 近藤みづき准教授
12月3日 「万華鏡をつくろう」 田中達也講師
1月10日 「ネイチャークラフトをつくろう」 深川幹講師
1月30日 「昔遊びを楽しもう」 山田秀江教授

③発達に関するカウンセリングの継続実施

看護学科教員による保護者対象の発達相談の実施。(詳細は2-⑥参照)

④研修講師

VI. 財務の概要

1. 決算の概要

①貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位 百万円)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
固定資産	12,170	12,094	12,151	12,099	12,064
流動資産	2,214	2,601	2,569	2,614	2,549
資 産 の 部 合 計	14,384	14,695	14,720	14,713	14,613
固定負債	1,642	1,530	1,431	1,331	1,246
流動負債	845	1,046	1,029	903	880
負 債 の 部 合 計	2,488	2,577	2,460	2,234	2,127
基本金	16,288	16,632	17,003	17,276	17,515
繰越収支差額	△ 4,391	△ 4,514	△ 4,743	△ 4,796	△ 5,029
純 資 産 の 部 合 計	11,897	12,118	12,260	12,480	12,486
負債及び純資産の部合計	14,384	14,695	14,720	14,713	14,613

イ) 財務比率の経年比較

(比率単位: %)

比率	算式	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
運用資産余裕比率	運用資産－外部負債 経常支出	55.0	59.1	57.3	68.9	69.3
流動比率	流動資産 流動負債	262.0	248.6	249.7	289.5	289.5
総負債比率	総負債 総資産	17.3	17.5	16.7	15.2	14.6
前受金保有率	現金預金 前受金	364.4	397.6	453.4	523.8	525.1
基本金比率	基本金 基本金要組入額	92.6	93.2	93.8	94.5	95.1
積立率	運用資産 要積立額	46.8	49.0	47.3	47.2	46.4
人件費比率	人件費 経常収入	60.9	61.3	61.1	58.7	62.3
教育研究経費比率	教育研究経費 経常収入	24.0	24.7	26.8	26.4	28.3
管理経費比率	管理経費 経常収入	9.3	8.0	8.8	9.1	9.5
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 事業活動収入	6.4	6.1	3.8	5.8	0.2
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 経常収入	75.4	71.6	74.0	72.2	73.5
経常収支差額比率	経常収支差額 経常収入	5.5	5.5	3.0	5.6	△ 0.2
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額 教育活動収入計	5.6	5.7	3.2	5.7	△ 0.3

②資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(百万円)

収 入 の 部	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
学生生徒等納付金収入	2,531	2,608	2,767	2,749	2,711
手数料収入	47	46	44	43	38
寄付金収入	26	22	25	98	17
補助金収入	712	760	721	722	702
資産売却収入	0	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	15	55	33	33	51
受取利息・配当金収入	6	5	2	4	7
雑収入	50	152	171	161	161
借入金等収入	600	0	0	0	0
前受金収入	577	601	510	463	439
その他の収入	216	454	446	433	299
資金収入調整勘定	△ 682	△ 766	△ 826	△ 659	△ 650
前年度繰越支払資金	2,133	2,105	2,391	2,313	2,428
収 入 の 部 合 計	6,231	6,041	6,284	6,360	6,204

支 出 の 部	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
人件費支出	2,040	2,237	2,284	2,230	2,283
教育研究経費支出	535	570	658	656	690
管理経費支出	282	267	304	323	326
借入金等利息支出	8	8	8	7	6
借入金等返済支出	115	68	101	101	101
施設関係支出	585	97	115	116	128
設備関係支出	364	137	217	101	56
資産運用支出	40	244	190	150	155
その他の支出	237	211	352	435	379
資金支出調整勘定	△ 80	△ 189	△ 257	△ 187	△ 226
翌年度繰越支払資金	2,105	2,391	2,313	2,428	2,306
支 出 の 部 合 計	6,231	6,042	6,284	6,360	6,204

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位 千円)

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,352,384	3,631,997	3,736,987	3,805,926	3,679,998
教育活動資金支出計	2,856,874	3,073,881	3,245,817	3,208,953	3,299,345
差引	495,510	558,116	491,171	596,973	380,653
調整勘定等	△ 35,499	△ 9,548	△ 58,451	△ 60,652	△ 21,237
教育活動資金収支差額	460,011	567,664	432,720	536,322	359,415
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	29,031	10,508	74,166	260	0
施設整備等活動資金支出計	988,758	274,028	421,638	317,169	283,851
差引	△ 959,727	△ 263,520	△ 347,472	△ 316,909	△ 283,851
調整勘定等	△ 34,117	13,765	△ 18,379	△ 3,894	△ 12,201
施設整備等活動資金収支差額	△ 993,844	△ 249,755	△ 365,851	△ 320,803	△ 296,052
小計 (教育活動資金収支差額＋ 施設整備等活動資金収支差額)	△ 533,832	317,909	66,869	215,518	63,363
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	741,847	376,662	213,103	212,862	159,726
その他の活動資金支出計	234,905	411,724	357,665	317,546	337,231
差引	506,943	△ 35,061	△ 144,561	△ 104,684	△ 177,505
調整勘定等	△ 416	3,141	△ 708	4,711	△ 8,536
その他の活動資金収支差額	506,527	△ 31,921	△ 145,269	△ 99,972	△ 186,042
支払資金の増減額 (小計＋その他の活動資金収支差額)	△ 27,305	285,989	△ 78,400	115,546	△ 122,679
前年度繰越支払資金	2,132,524	2,105,218	2,391,207	2,312,807	2,428,352
翌年度繰越支払資金	2,105,218	2,391,207	2,312,807	2,428,352	2,305,674

③事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位 百万円)

科目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	2,531	2,608	2,767	2,749	2,711
	手数料	47	46	44	43	38
	寄付金	26	22	25	98	17
	経常費等補助金	683	750	697	722	702
	付随事業収入	15	55	33	33	51
	雑収入	50	152	171	161	161
	教育活動収入計	3,353	3,632	3,737	3,806	3,680
	事業活動支出の部					
	人件費支出	2,044	2,231	2,286	2,235	2,296
	教育研究経費支出	805	900	1,002	1,006	1,044
	管理経費支出	311	293	328	345	349
	徴収不能額等	4	3	1	3	1
	教育活動支出計	3,164	3,426	3,618	3,588	3,689
	教育活動収支差額	188	206	119	218	△ 9
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	5	4	2	3	6
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	5	4	2	3	6
	事業活動外支出の部					
	借入金等利息	8	8	8	7	6
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	8	8	8	7	6
	教育活動外収支差額	△ 3	△ 4	△ 6	△ 4	0
	経常収支差額	185	201	113	214	△ 9
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	0	1	0	0	0
	その他の特別収入	33	21	29	6	17
	特別収入計	33	21	30	7	17
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	1	1	1	1	1
	その他の特別支出	0	0	0	0	0
	特別支出計	1	1	1	1	1
	特別収支差額	32	20	29	5	16
	基本金組入前当年度収支差額	217	222	142	220	7
基本金組入額合計		△ 439	△ 345	△ 370	△ 273	△ 240
当年度収支差額		△ 222	△ 123	△ 229	△ 53	△ 233
前年度繰越収支差額		△ 4,169	△ 4,391	△ 4,514	△ 4,743	△ 4,796
翌年度繰越収支差額		△ 4,391	△ 4,514	△ 4,743	△ 4,796	△ 5,029
(参考)						
事業活動収入計		3,391	3,657	3,769	3,816	3,704
事業活動支出計		3,174	3,435	3,627	3,597	3,697

２．その他

①有価証券の状況

(単位：千円)

種類	当年度(令和7年3月31日)		
	貸借対照表 計上額	時 価	差 額
債権	702,251	685,407	-16,845
株式	0	0	0
投資信託	0	0	0
貸付信託	0	0	0
その他	0	0	0
合 計	702,251	685,407	-16,845
時価のない有価証券	2,300		
有価証券合計	704,551		

②借入金の状況

(単位：千円)

借入先	期末残高
日本私立学校振興・共済事業団	788,760
兵庫県私学振興協会	23,800

③学校債の状況

なし

④寄付金の状況

(単位：千円)

科目	収入額
特別寄付金	15,966
一般寄付金	1,040
現物寄付	17,182

⑤補助金の状況

(単位：千円)

科目	収入額
国庫補助金	333,508
地方公共団体補助金	368,085
その他	50

⑥収益事業の状況

私立学校法に定める収益事業は、該当ありません。

⑦関連当事者等との取引の状況

なし

⑧学校法人間の財務取引

なし